

活動分野 グループ	実績 コロナ禍前 (2018年度、実績)	コロナ禍前	コロナ禍前に対する比率				
			コロナ禍初期 (2020年度、実績)	コロナ禍中期 (2021年度、実績)	コロナ禍脱却期 (2022年度、事業計画ベース)	コロナ禍終焉期 (2023年度以降、希望値)	
参加者数	子供健全育成	1,674	100%	53%	53%	59%	67%
	高齢者支援	1,000	100%	24%	25%	66%	112%
	子供健全育成&高齢者支援	5	100%	0%	2260%	2380%	2580%
	子育て	4,000	100%	44%	57%	59%	81%
	子供健全育成&障害者支援	1,765	100%	100%	100%	100%	100%
	その他	46	100%	0%	0%	100%	130%
活動者数	子供健全育成	222	100%	65%	67%	94%	132%
	高齢者支援	51	100%	90%	94%	131%	122%
	子供健全育成&高齢者支援	6	100%	117%	267%	650%	783%
	子育て	34	100%	79%	79%	68%	26%
	子供健全育成&障害者支援	43	100%	100%	100%	100%	100%
	その他	24	100%	54%	83%	138%	313%
事業回数	子供健全育成	56	100%	98%	100%	104%	104%
	高齢者支援	40	100%	78%	93%	118%	110%
	子供健全育成&高齢者支援	1	100%	0%	1200%	1400%	1500%
	子育て	461	100%	72%	85%	77%	87%
	子供健全育成&障害者支援	211	100%	100%	100%	100%	100%
	その他	5	100%	0%	20%	100%	100%

市民団体の活動実績の推移（活動分野グループ別）（豊田市内のNPO17団体の回答）

コロナ禍と地域・市民活動

コロナ禍は、地域や市民の活動に大きな変化を与えました。例えば、豊田市のNPO団体（n=17）への調査結果からは、コロナ禍によって、特に子供の育成に関わる参加者数、活動者数、事業回数が大きく減少し、それがたとえる結果が得られています。地域や市民の活動の変化は、地域内・間のつながりや交流に変化を生じさせます。社会における人とのつながりの中でもたらされる「ソーシャル・サポート」は、社会での高ストレスを緩和すると考えられています。豊田都市交通研究所では、コロナ禍によって変化した地域活動・市民活動の実態を踏まえ、地域住民の「心身の健康」を支えるまちづくり支援ツールの開発にかかる研究活動を行っています。

【所属機関・連絡先】

豊田都市交通研究所 研究部 三村泰広

Tel : 0565-31-7543 E-mail : mimura@ttri.or.jp